

事業所名 グループホーム さくら

作成日: 令和 3 年 9 月 22 日

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

#### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をいかにケアの実践	身体拘束等適正化委員会と話し合のニヒを。スタッフ会議で報告しそへ中で意見交換をし課題に取り組む身体拘束をいかにケアを目標とする。	入居者様が自室に入るのにはほかの居る様で居室へ入りし。ため施設をすることで本人が自室へ入るにはと身体拘束に悩むのでは？ニヒを全員で話し合いますからケアがわかって入居者様とご言葉に付して入居者様が利用したい止めることはできる拘束をいかにケア。スタッフ会議で取りかかると全員で感じ取るのが強くなる	1.6ヶ月
2	2	事業所と地域のつなご	南ヶ水ホームを目標とする同じ地域に住み入居者、職員の地域の方々に気軽な挨拶、会話していから中から助け合える仕組みを目標とする	コロナ禍の為、外出等は難しく、交流が少なくなっている地域からの差し入れ(野菜等)は以前より届けてもらえずに付でもらうに付して付かなくなっている車以外へは徒歩で距離と景色を見渡せる環境を。少数にて散歩中進行の方向にないあひまも付と付地域とのつながりをもつ目標としている	1.6ヶ月
3	16	災害対策	運営推進会議を通じて風水害、地震、火災などについて地域との協力体制をきずいて行く	運営推進会議にて地域の区長より居る町行政区避難計画書をもとに風水害、地震、火災の時の入居者様等には避難力をして載るホームの中へ入居者に身かそスタッフと共に周知すること、又訓練の方法等と地域との協力体制を築いて行く	1.6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。